

都市再生整備計画 事後評価シート
丸子中心市街地地区

平成29年3月

長野県上田市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	長野県	市町村名	上田市	地区名	丸子中心市街地地区			面積	220ha
交付期間	平成23年度～平成27年度	事後評価実施時期	平成28年度	交付対象事業費	393.0	国費率	0.4		

1)事業の実施状況		当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名					
		基幹事業	提案事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響	
当初計画から削除した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路事業:市道中丸子22号線 ・道路事業:市道下丸子腰越線 ・道路事業:市道四反田箱置線 							
	提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業:下堰排水路 ・地域創造支援事業:依田川橋排水路 ・地域創造支援事業:洲崎川その1 ・地域創造支援事業:洲崎川その2 							
	基幹事業	なし						-	
	提案事業	事業活用調査:事後評価調査						評価実施時期の見直しによる事業の削除	
新たに追加した事業	基幹事業	なし						-	
	提案事業	なし						-	
交付期間の変更		当初	平成23年度～平成27年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響					
		変更	-	-					

2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
指標1	特定の道路の交通指数(混雑度)		1.32	H22	1.00	H27	-	0.18	○	あり なし	中丸子22号線の整備により交通量は増加したが、可能交通容量も増加したため混雑度は低下した。	
指標2	歩行者の歩きやすさ	%	42	H22	66	H27	-	65	△	あり なし ●	中丸子22号線、下丸子腰越線及び四反田箱置線の整備により、歩行空間が改善された。今後、車速抑制のための路面標示を行い、更なる満足度の向上を図りたい。	
指標3	流下能力改善・整備率	%	73	H22	100	H27	-	100	○	あり なし	依田川橋排水路他の整備によって流下能力が改善した。	

3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
その他の数値指標1							-					
その他の数値指標2							-					

4)定性的な効果発現状況
 小学校・高等学校の通学路である市道中丸子22号線について、車道拡幅や歩道整備を行い、また近接して施工された主要地方道別所丸子線の拡幅と、国道152号の交差点改良によって、幹線道路の整備がされた結果、歩行者や自転車通行者に対し、安全性が確保できた。

5)実施過程の評価	実施内容		実施状況			今後の対応方針等
	モニタリング	実施状況	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	
住民参加プロセス	なし	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-
持続的なまちづくり体制の構築	施設の維持管理、清掃等への住民等の参加	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-

様式2-2 地区の概要

丸子中心市街地地区(長野県上田市) 都市再生整備計画事業の成果概要

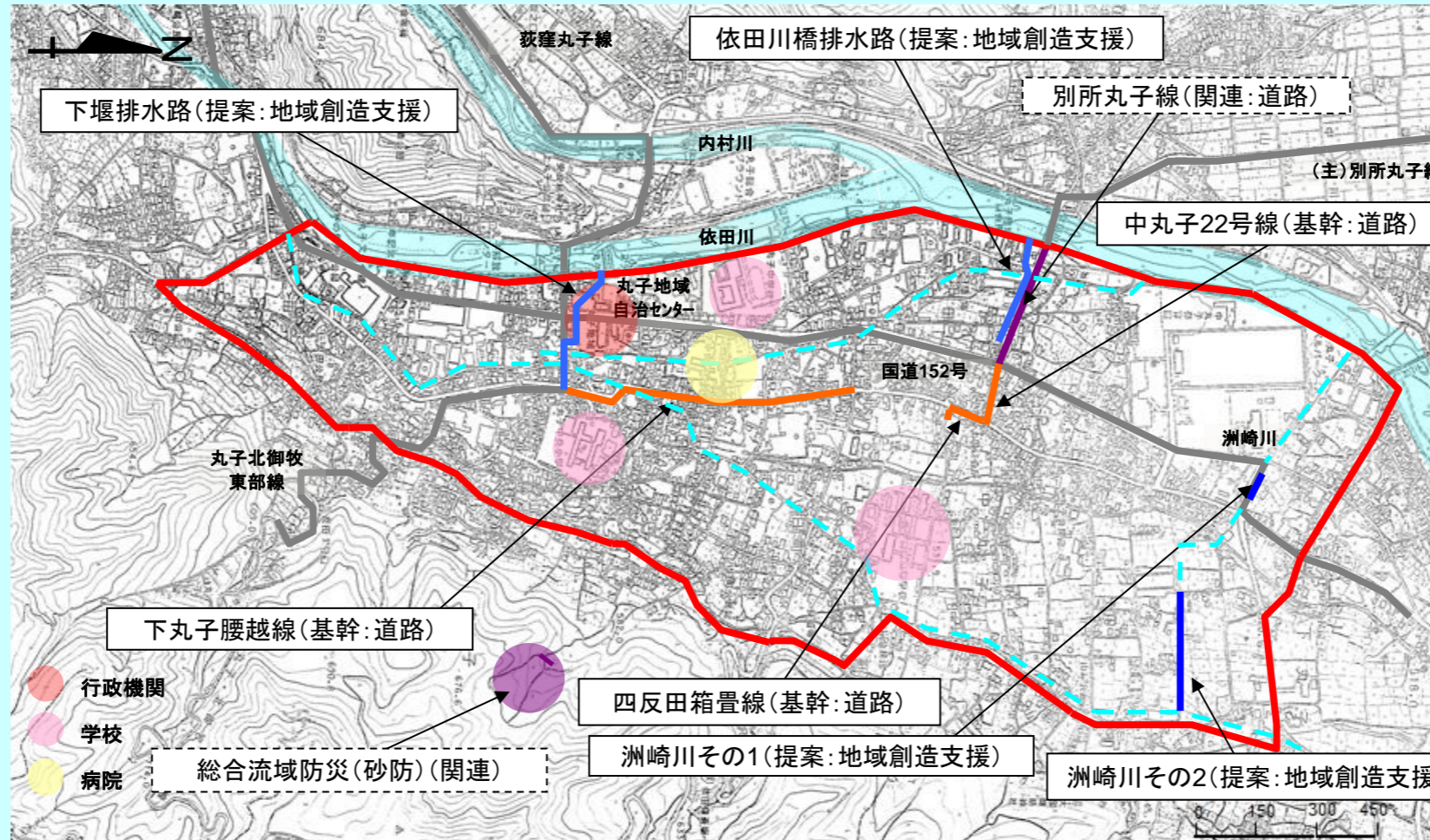
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
歩行空間の整備及び防災機能の向上による、市民が安全・安心に暮らせる市街地の形成 目標1: 歩行者の安全性、避難所及び公共施設への交通利便性の向上を図る。 目標2: 歩道のバリアフリー化を図り、子供からお年寄りが安全に通行できる歩行空間を整備する。 目標3: 排水路の整備改善により、水害に強い市街地を形成する。	特定の道路の交通指数(混雑度) 単位:	1.32 H22	1.00 H27	0.18 H28
	歩行者の歩きやすさ 単位:%	42 H22	66 H27	65 H28
	流下能力改善・整備率 単位:%	73 H22	100 H27	100 H28
	単位:			
	単位:			



【下丸子腰越線】



【依田川橋排水路】



【中丸子22号線】



【洲崎川その2】

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校・高等学校の通学路となっている市道を整備したことにより、子供からお年寄りが安全に通行できる歩行空間を確保した。 ・依田川橋排水路をはじめとした排水路を整備したことにより、冠水被害等の減少につながった。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行空間の整備により一定程度の安全性・利便性の向上を図ることができたが、学校施設周辺では今後より一層の歩行空間整備が必要である。特に、丸子修学館高校正門側の都市計画道路芦田丸子線は、通学路であるが歩道が無く交通量が多いため、早急に整備を進める必要がある。 ・丸子中央小学校やわかかさ保育園周辺は狭い道路が多いため、通学路の安全対策を進める必要がある。 ・排水路整備によりハード面の整備は進んだが、施設の操作や維持管理などのソフト面の課題を解決していく必要がある。